

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月20日

協議会名: 四国中央市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
宇田タクシー(株)	川之江エリア 区域運行 1日7便	利用者からの要望等について、運行事業者へ随時伝えて、利用しやすい環境づくりを進めた。 利用案内チラシについて、市内の公民館等に掲載し、利用周知を進めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	乗り合い運行であるデマンドタクシーは、新型コロナウイルス感染症の流行による移動控えの影響を受けやすい状況となっている。 今後も、利用者が安心して利用出来るよう乗車前の検温やアルコール消毒等の徹底を図るとともに、利用促進となるよう市の広報誌やホームページの掲載、利用案内のチラシ等の周知を継続的に取り組んでいきたい。
三島交通(株)	三島エリア 区域運行 1日7便		A	計画通り事業は適切に実施された。	B	
三島交通(株)	三島嶺南エリア 区域運行 1日3往復		A	計画通り事業は適切に実施された。	B	
三島交通(株)	早朝夜間便 区域運行 1日1往復		A	計画通り事業は適切に実施された。	B	
三島交通(株)	土居エリア 区域運行 1日7便		A	計画通り事業は適切に実施された。	B	
(有)GOHAN	三島エリア 区域運行 1日7便		A	計画通り事業は適切に実施された。	B	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月20日

協議会名：	四国中央市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>四国中央市は、愛媛県の東端に位置し、面積は約420平方キロメートル、人口は約8万4千人となっている。</p> <p>当市の地勢は、平野部が狭小で、谷筋が多い地域や幹線道路が整備されていない地域が多い状況にある。</p> <p>そのため、路線型交通ではバス停の位置が自宅から遠い地域などをカバーすることができないことから、一定の区域ごとに「デマンド型(予約型)の乗合タクシー」の区域運行を実施し、広域幹線路線バス等に接続する必要がある。</p> <p>人口減少・高齢化が進展しており、自家用車を運転しない高齢者など交通弱者の通院や買い物等の生活移動手段を確保することが課題となっていることから、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。</p> <p>「デマンド型の乗合タクシー」の区域運行によって、広域幹線路線バス等と連携のとれた生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>